# 平成23年３月期　第１四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年７月30日

上 場 会 社 名　ネクストウェア株式会社　上場取引所　大
コ ー ド 番 号　4814　URL　http://www.nextware.co.jp
代　表　者　(役職名)代表取締役社長　(氏名)豊田　崇克
問合せ先責任者　(役職名)代表取締役副社長　(氏名)田　英樹　TEL 06(6281)9866
四半期報告書提出予定日　平成22年８月13日　配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

## 1.　平成23年３月期第１四半期の連結業績（平成22年４月１日～平成22年６月30日）

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 23年３月期第１四半期 | 602 | △22.4 | △117 | ― | △114 | ― | △107 | ― |
| 22年３月期第１四半期 | 776 | △19.4 | △93 | ― | △97 | ― | △116 | ― |

| | １株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後１株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円　銭 | 円　銭 |
| 23年３月期第１四半期 | △1,192　31 | ― |
| 22年３月期第１四半期 | △1,293　66 | ― |

### (2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | １株当たり純資産 |
|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円　銭 |
| 23年３月期第１四半期 | 1,668 | 668 | 37.6 | 6,946　98 |
| 22年３月期 | 1,885 | 781 | 39.1 | 8,145　37 |

(参考)　自己資本　23年３月期第１四半期　628百万円　22年３月期　736百万円

## 2.　配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第１四半期末 | 第２四半期末 | 第３四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円　銭 | 円　銭 | 円　銭 | 円　銭 | 円　銭 |
| 22年３月期 | ― | 0　00 | ― | 0　00 | 0　00 |
| 23年３月期 | ― | | | | |
| 23年３月期(予想) | | 0　00 | ― | 0　00 | 0　00 |

(注)　当四半期における配当予想の修正有無　:　無

## 3.　平成23年３月期の連結業績予想（平成22年４月１日～平成23年３月31日）

(%表示は、通期は対前期、第２四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | １株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円　銭 |
| 第２四半期(累計) | 1,400 | △4.5 | △120 | ― | △120 | ― | △120 | ― | △1,327　05 |
| 通期 | 3,300 | 6.7 | 50 | ― | 50 | ― | 30 | ― | 331　76 |

(注)　当四半期における業績予想の修正有無　:　無

4.　その他（詳細は、【添付資料】P.３「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動　　：　無

新規　　—社（社名　　）、除外　　—社（社名　　）

（注）　当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用　　：　有

（注）　簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更　　：　有

②　①以外の変更　　：　無

（注）　「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①　期末発行済株式数（自己株式を含む） | 23年３月期１Ｑ | 96,070株 | 22年３月期 | 96,070株 |
| ②　期末自己株式数 | 23年３月期１Ｑ | 5,644株 | 22年３月期 | 5,644株 |
| ③　期中平均株式数（四半期累計） | 23年３月期１Ｑ | 90,426株 | 22年３月期１Ｑ | 90,426株 |

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）２ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 …… P.2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… P.2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… P.2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… P.2
2. その他の情報 …… P.3
(1) 重要な子会社の異動の概要 …… P.3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… P.3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… P.3
3. 連結財務諸表等 …… P.4
(1) 四半期連結貸借対照表 …… P.4
(2) 四半期連結損益計算書 …… P.6
(3) 継続企業の前提に関する注記 …… P.7
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… P.7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間におけるわが国経済は、新興国向けの輸出が堅調に推移したことや政府の経済対策効果を受け、幅広い業種で景気回復の動きが見られました。一方で、欧州発の金融不安、株安・円高の進行、雇用環境・個人消費等の低迷が継続するとともに、デフレ、米国景気、政治混乱等先行きに対する懸念事項も多く、予断を許さない厳しい経済環境が続いております。

また、当社グループの属する情報サービス産業におきましても、顧客企業の情報化投資の削減及び外部委託の抑制等は依然として継続しており、また運用業務の内製化と相まって非常に厳しい局面が継続しております。

このような状況下におきまして当社グループは、既存顧客からの継続的な受注の確保と新規顧客の開拓に努め、また、自治体向けの地方税等滞納整理・収納支援システムを中心に、当社グループ保有のソリューション製品群の拡販並びに機能強化を積極的に図ってまいりました。さらに、諸経費の削減も徹底して推進してまいりました。

これらの結果、当第１四半期連結会計期間における売上高は602百万円（前年同四半期比22.4%減）、営業損失117百万円（前年同四半期は93百万円の損失）、経常損失114百万円（前年同四半期は97百万円の損失）、四半期純損失107百万円（前年同四半期は116百万円の損失）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の総資産は1,668百万円となり、前連結会計年度末に比べて217百万円減少しました。これは、受取手形及び売掛金(純額)が248百万円減少したこと等が主な要因であります。

負債合計は1,000百万円となり、前連結会計年度末に比べて103百万円減少しました。これは、支払手形及び買掛金が90百万円減少したこと等が主な要因であります。

純資産合計は668百万円となり、前連結会計年度末に比べて113百万円減少しました。これは、当第１四半期連結会計期間に107百万円の四半期純損失を計上したことが主な要因であります。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年５月７日に公表した連結業績予想から変更しておりません。

## 2.　その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第１四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

②棚卸資産の評価方法

当第１四半期連結会計期間末の棚卸高の算出方法に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

棚卸資産の簿価切下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価額を見積り、簿価切下げを行う方法によっております。

また、営業循環過程から外れた滞留又は処分見込等の棚卸資産で前連結会計年度末において帳簿価額を処分見込額まで切り下げているものについては、前連結会計年度以降に著しい変化がないと認められる限り、前連結会計年度末における貸借対照表額で計上しております。

③固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

④法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、経営環境等に著しい変化が生じておらず、かつ、一時差異等の発生状況について前連結会計年度末から大幅な変動がないと認められるので、前連結会計年度末において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」等の適用

当第１四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号　平成20年３月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号　平成20年３月31日）を適用しております。

なお、これによる損益に与える影響はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

### (1) 四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 当第１四半期連結会計期間末<br>（平成22年６月30日） | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>（平成22年３月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 323,090 | 344,140 |
| 受取手形及び売掛金（純額） | 398,267 | 646,352 |
| 商品及び製品 | 37,112 | 23,400 |
| 仕掛品 | 29,748 | 10,129 |
| 原材料及び貯蔵品 | 4,743 | 5,328 |
| その他 | 128,620 | 116,552 |
| 流動資産合計 | 921,583 | 1,145,904 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 26,602 | 28,095 |
| 無形固定資産 | | |
| のれん | 34,268 | 35,758 |
| その他 | 168,044 | 154,913 |
| 無形固定資産合計 | 202,313 | 190,672 |
| 投資その他の資産 | 514,808 | 517,228 |
| 固定資産合計 | 743,723 | 735,995 |
| 繰延資産 | 3,221 | 3,673 |
| 資産合計 | 1,668,528 | 1,885,573 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 112,813 | 203,306 |
| 短期借入金 | 330,000 | 389,400 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 26,750 | 41,640 |
| 未払法人税等 | 4,433 | 18,707 |
| 賞与引当金 | 32,640 | － |
| その他の引当金 | 1,492 | － |
| その他 | 244,456 | 178,781 |
| 流動負債合計 | 752,585 | 831,835 |
| 固定負債 | | |
| 社債 | 120,000 | 144,000 |
| 引当金 | 13,220 | 13,095 |
| その他 | 114,659 | 114,809 |
| 固定負債合計 | 247,879 | 271,904 |
| 負債合計 | 1,000,465 | 1,103,740 |

（単位：千円）

| | 当第１四半期連結会計期間末<br>（平成22年６月30日） | 前連結会計年度末に係る<br>要約連結貸借対照表<br>（平成22年３月31日） |
|---|---|---|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 958,039 | 958,039 |
| 利益剰余金 | △134,454 | △26,639 |
| 自己株式 | △191,276 | △191,276 |
| 株主資本合計 | 632,308 | 740,124 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △4,120 | △3,571 |
| 評価・換算差額等合計 | △4,120 | △3,571 |
| 少数株主持分 | 39,874 | 45,280 |
| 純資産合計 | 668,062 | 781,833 |
| 負債純資産合計 | 1,668,528 | 1,885,573 |

## (2) 四半期連結損益計算書

【第１四半期連結累計期間】

（単位：千円）

| | 前第１四半期連結累計期間<br>（自 平成21年４月１日<br>至 平成21年６月30日） | 当第１四半期連結累計期間<br>（自 平成22年４月１日<br>至 平成22年６月30日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 776,474 | 602,177 |
| 売上原価 | 639,166 | 511,960 |
| 売上総利益 | 137,308 | 90,216 |
| 販売費及び一般管理費 | 231,006 | 207,272 |
| 営業損失（△） | △93,698 | △117,056 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 241 | 14 |
| 受取配当金 | 332 | 332 |
| 受取手数料 | 225 | 203 |
| 助成金収入 | － | 5,914 |
| その他 | 134 | 8 |
| 営業外収益合計 | 933 | 6,474 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 2,069 | 2,191 |
| 支払手数料 | 1,875 | － |
| その他 | 861 | 1,471 |
| 営業外費用合計 | 4,806 | 3,663 |
| 経常損失（△） | △97,570 | △114,245 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 677 | 616 |
| 特別利益合計 | 677 | 616 |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | 13,028 | 10,562 |
| 保険解約損 | 6,040 | － |
| 出資金評価損 | 1,542 | － |
| 固定資産除却損 | 44 | － |
| 特別損失合計 | 20,655 | 10,562 |
| 税金等調整前四半期純損失（△） | △117,549 | △124,190 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 4,093 | 2,187 |
| 法人税等調整額 | △5,547 | △13,156 |
| 法人税等合計 | △1,453 | △10,969 |
| 少数株主損益調整前四半期純損失（△） | － | △113,221 |
| 少数株主利益又は少数株主損失（△） | 884 | △5,405 |
| 四半期純損失（△） | △116,980 | △107,815 |

### (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

### (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。